

障害評価の社会構造 無作為郵送調査で評価された障害の社会的重度性と障害分類

榊原賢二郎

sakakibara_kenjirou@yahoo.co.jp

2019年9月7日 障害学会口頭報告

本報告の目的と位置付け

社会的排除・不利益としての障害^{[1][2][3]}
→ 障害という排除の統計的解明が課題に
… まずは障害種別に着目

- 客観的方法… 不利の実態
- 主観的方法… 人々の不利の認識

2017年に後者の予備調査結果を報告
→ 今回は無作為抽出に基づく本調査

1 / 21

疾患威信 (disease prestige)^[4]

38種類の疾患・損傷の「威信」を、専門家(医療以外を含む)が1-9で回答
心筋梗塞(平均7.6)～肝硬変(3.3)
(非検証可能・自己責任論で低く)

本報告の相違点

- 非専門家を含む障害評価の社会構造
→ 各種障害を日常用語で表す必要
- 不利の軽重に絞った質問

2 / 21

障害種別ごとの社会的距離^[5]

一般の人々が各種障害者との間に感じる社会的距離を回答

糖尿病(0.79)～薬物依存(2.52)
評価者の属性が評価と関連 e.g. 学歴

社会的排除の一側面を解明

↔ 差別禁止規範は距離感の表明を困難に
+ 一般論にしづらい… 私(たち)からの距離

3 / 21

中心となる質問

Q1

以下の表に並んでいるのは、心や体の状態です。この中には、仕事や学校生活、結婚や家事・育児などといった社会生活で不利になるものもあるようです。以下の心や体の状態は、世間一般では、どの程度社会生活に不利になると思いますか。(後略)

4 / 21

Q1の詳細

- 回答は6段階、1=まったく不利にならない、6=非常に不利になる
- 最初に確認のため、「まったく不利にならない」に○をつけてもらう
… 回答の逆転を防止。誤答は無効
- 1から6の回答を0-100に変換
1→0, 2→20, …, 6→100
- 平均点… 障害スコア、予期された社会的排除の指標

5 / 21

調査の概要

時期	2018年11月1日から26日
対象者	南関東1都3県在住の20歳以上79歳以下の男女
調査方法	郵送調査(実査は一般社団法人中央調査社に委託)
抽出方法	住民基本台帳からの層化2段無作為抽出

6 / 21

回収状況

標本数	1000
回収数	322 (32.2%)
有効回答数	253 (25.3%)
(無差別回答)	5 (0.05%)

有効回答の基準

- すべての質問に回答 かつ
- 確認用の質問に正しく回答

7 / 21

障害スコアと95%信頼区間(1)

目が見えず、耳が聞こえない	94.3	(91.8-96.9)
目が見えない	90.1	(87.4-92.8)
歩けない	83.2	(80.1-86.3)
手が動かない	82.4	(79.3-85.4)
耳が聞こえない	81.8	(79.0-84.6)
言葉を理解できない	80.7	(77.5-83.9)
言葉を話せない	76.2	(73.1-79.3)
幻覚や妄想がある	72.3	(68.8-75.7)
移動に車椅子を使う	70.9	(67.9-73.9)
文字は見えるが読めない	70.2	(66.9-73.5)
新しいことを覚えられない	69.5	(66.4-72.6)

8 / 21

障害スコアと95%信頼区間(2)

他人の気持ちが全く分からない	67.3	(64.0-70.6)
色が見分けられない	66.6	(63.4-69.7)
いつも体中が痛い	65.0	(61.8-68.2)
腰が痛く座ってられない	63.9	(60.9-66.8)
片目が見えない	63.5	(60.7-66.2)
すぐカッとなる	62.8	(59.6-65.9)
気分が沈み何もやる気がしない	61.7	(58.7-64.6)
極度に疲れやすい	61.6	(58.6-64.6)
他人と会うのが怖い	60.2	(57.3-63.2)
場の空気を読めない	60.0	(57.0-63.0)
味を感じない	59.4	(56.2-62.5)

9 / 21

障害スコアと95%信頼区間(3)

なめらかに話せず言葉を繰り返す	58.0	(55.1-60.9)
においを感じない	57.3	(54.4-60.3)
じっとしてられない	56.8	(53.6-60.1)
日中に眠くなる	51.7	(48.7-54.7)
飲酒をやめられない	51.2	(47.8-54.6)
タバコをやめられない	48.1	(44.8-51.5)
とても太っている	44.0	(40.8-47.3)
体が極めて小さい	39.3	(36.1-42.5)
顔にあざがある	39.1	(35.8-42.3)
とてもやせている	33.4	(30.4-36.4)
髪の毛がない	29.8	(26.5-33.1)

10 / 21

障害スコアの傾向

予備調査と同様の傾向、相関0.977
(31種別、質問文・順位に若干の相違)

- 「機能制限」を伴う身体障害が上位
… 依然身体障害は不利という評価
- 精神障害関連は上位・中位と評価
- 身体の異形は軽度と評価
… 人々の認識における周縁化とも

11 / 21

評価者の属性の影響

評価者の属性の影響が小さい方が、一般的な障害評価として信頼可能
(cf. 「高学歴者・女性が受容的」^[5])

- 種別ごとのスコアと全体の相関
… 最低で0.938(収入関係、N=17)
- 属性による回帰分析
… 33個中31個のモデルが非有意

その他の点でも一定以上の信頼性 12 / 21

評価傾向の因子分析

評価に影響する要因を探る分析

例1 学力→テストの点数

例2 理系学力・文系学力→テストの点数

→ 障害種別を3つに大別可

(← 相関行列のスクリープロットから)

13 / 21

障害評価の因子負荷(1)

	因子1	因子2	因子3
耳が聞こえない	0.819		
目が見えない	0.794		
歩けない	0.783		
目が見えず、耳が聞こえない	0.773		
手が動かない	0.752		
移動に車椅子を使う	0.750		
言葉を話せない	0.710		
片目が見えない	0.667		
なめらかに話せず言葉を繰り返す	0.636		

14 / 21

障害評価の因子負荷(2)

	因子1	因子2	因子3
色が見分けられない	0.635		
言葉を理解できない	0.626	0.484	
においを感じない	0.571		
新しいことを覚えられない	0.542	0.480	
飲酒をやめられない	0.536		
味を感じない	0.514		
文字は見えるが読めない	0.446	0.571	
とてもやせている		0.757	
場の空気を読めない		0.748	

15 / 21

障害評価の因子負荷(3)

	因子1	因子2	因子3
幻覚や妄想がある		0.736	
他人の気持ちが全く分からない		0.734	
すぐカッとなる		0.707	
気分が沈み何もやる気がしない		0.697	
じっとしてられない		0.660	
日中に眠くなる		0.577	
他人と会うのが怖い		0.567	
タバコをやめられない		0.544	

16 / 21

障害評価の因子負荷(4)

	因子1	因子2	因子3
極度に疲れやすい		0.467	
腰が痛く座ってられない		0.414	
とても太っている			0.752
顔にあざがある			0.710
髪の毛がない			0.705
体が極めて小さい			0.691
いつも体中が痛い			
寄与率	0.237	0.193	0.119

※0.4未満の因子負荷量は省略

※バリマックス回転を使用

17 / 21

因子の解釈(1)

三障害(身体・精神・知的)と相違

第1因子… 道具的損傷

多くの典型的な身体障害が関連

↔ 言葉の理解や記憶、文字の理解など、通常身体障害とはされていない身体条件も

… 活動の手段としての身体に関連

18 / 21

因子の解釈(2)

第2因子… 内在的損傷

精神・発達障害と大きく重なる

↔ その他の項目も

(疲労の一部、過度な痩身)

… 身体のorderに関連

第3因子… 外在的損傷

身体の外形に関わる

19 / 21

調査結果の含意

- 障害種別ごとの重度性への評価に差異
→ 排除の不均一性、マイノリティ集団内の分断の存在
- 異質な損傷観
→ 障害研究の射程の再検討 cf. 能力主義
+ 身体への異なる意味付与の解明

20 / 21

文献

本研究は JSPS 科研費 18K12950 の助成を受けたものです。

- ① UPIAS and DA (1976), *Fundamental Principles of Disability*.
- ② 星加良司 (2007) 『障害とは何か』。
- ③ 榊原賢二郎 (2016) 『社会的包摂と身体』。
- ④ Grue, J. (2015), "Prestige rankings of chronic diseases and disabilities," *Social Science & Medicine*, 180-6.
- ⑤ Harasymiw, S.J. et al.(1978), "Age, Sex, and Education as Factors in Acceptance of Disability Groups," *Rehabilitation Psychology*, 25(4), 201-8.

21 / 21